

2022年3月8日

第4回新しい資本主義実現会議「論点案」に対する意見

日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

1. 科学技術・イノベーションについて

- 科学技術の振興、イノベーションの促進については、その基盤となる人材の確保・育成が重要です。人口減少下の日本において、企業がイノベーション人材を確保するには、外部に求めるだけではなく、企業内での人材育成が鍵となります。企業規模にかかわらず、産業構造の変化に対応したリカレント教育など働く者の学び直しや、企業の職業能力開発に対する支援を大胆に強化すべきです。
- 加えて、女性の科学人材の育成も重要です。義務教育終了段階では比較的高い理数リテラシーを持つ女性生徒は約40%いるにもかかわらず、高校、大学と進むにつれ、女子生徒の数は少なくなっていることから、大学、研究機関などのあらゆる分野においてポジティブアクションの取り組みを行うことを求めます。

2. 量子技術について

- 量子コンピューターの高機能化、大規模化、さらには様々な分野への応用による汎用化は、大量のエネルギー消費を伴うことが予想されます。2050年カーボンニュートラル実現との両立をどのような手段により実現するか、そのシナリオの検討も必要であると考えます。
- その上で、シナリオの検討にあたっては、変革の中で生じる雇用や地域経済への負の影響を最小限に抑えるため、「公正な移行」の考え方に立って、社会対話の場を設置し、政労使を含む関係する各主体間の連携をはかるべきです。

3. AIについて

- このことは、AIのより一層の実装、開発を進める上でも同様です。経済・社会、働く者への負の影響を最小限にとどめながら、AIを利活用するためにも、社会対話によって政策を検討すべきです。
- 特に、AIの実装により「雇用の劣化」や「雇用の二極化」が生じることのないよう、従来の雇用に加え、新たに創出される雇用においてもディーセントワークが実現できるよう配慮が必要であり、加えて、特定のAI企業が市場を独占し、他社を排除しないように公正な競争環境に向けた法整備の検討も必要です。
- データの扱いについては、人権の尊重を第一に据えた議論が重要です。ブラックボックス化したアルゴリズムにより自動的に評価・判別が行われたり、デジタルプラットフォームなどに個人の人生が左右されたりすることがないようデータ保護を基本的人権と結びつけた政策の策定が重要です。

以 上